

感動の場

一点

『大白鳥』

1978年 小川原 僕 画

この作品は、12月3日から3月29日まで鹿追町・神田日勝記念美術館で開催される「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館作品交換展 二人の歩んだ道」で展示されます。俱知安からはるばる250キロ、本作の他にも小川原作品18点が大移動します。

1970年代、小川原脩が大きなテーマとしたのは「群れと個」でした。集団化するものとそこから疎外されるもの、あえて孤独の道を行くもの、それらを白鳥と犬を描いて表現しました。代表作《群れ》(1977年)は犬の姿で、東京で活躍していた時代のかつての画家仲間たちを「群れ」に、ひとり俱知安に身を置き創作を続ける自分を「個」に重ね描いていますが、本作では大白鳥にその背景を語らせてているように感じます。

交換展を企画した神田日勝記念美術館の杉本学芸員は、この作品を見たときから、白鳥達の動きの美しさ、群れと個を語る構図、画面が醸し出す冷涼な空気感、そして日勝は馬の作品が多いので小川原が鳥を描いていることへの新鮮さなどに心奪われたそうです。

また、来春には当館へ、神田日勝の代表作の数々がやってきます。北海道、都市と農村、昭和時代…少しずつ重なる二人の共通項が、この作品にも含まれているのです。

文:沼田 絵美 (小川原脩記念美術館 副館長)

風で転がる草 ハナクサキビ

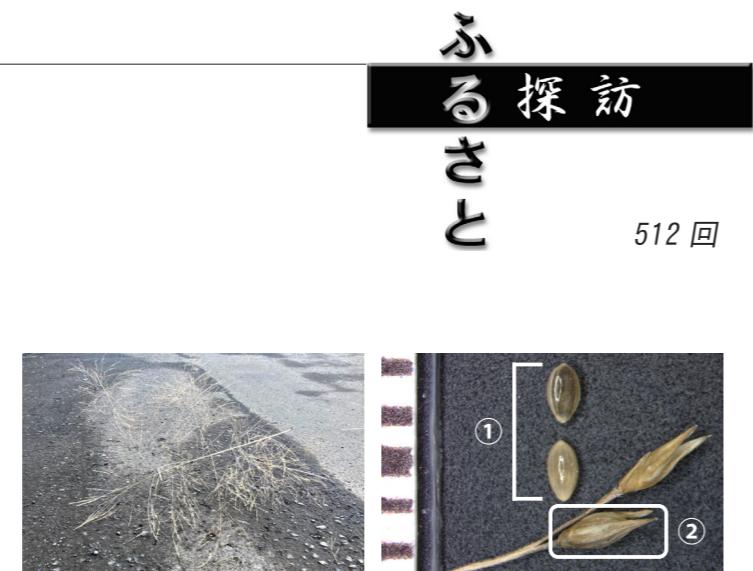
広がる荒野、吹きすさぶ風、対峙する二人のガマン、間をすり抜ける枯れ草の玉…。そんな西部劇映画で見るように枯れ草の玉ほど立派ではないものの、風に吹かれるモサモサした植物を晩秋の俱知安でも見かけたことはありませんか(写真1)。

これはハナクサキビという北米原産のイネ科植物の円錐花序と呼ばれる穂の部分で、種子が成熟して乾燥すると付け根から折れて植物本体から外れます。円錐形の穂は風を受けやすく、よく転がりながら1.5ミリメートルほどの種子をまき散らします(写真2)。

このような戦略を取る植物は「回転草(tumbleweed)」と総称されることもあります。

道端に転がるハナクサキビ。厳しい冬の訪れを告げているようです。

文:小田桐 亮(俱知安風土館 学芸員)



展覧会のお知らせ

■第1展示室

第67回麓彩会展

会期: 開催中~12月7日(日)

小島英一展「B. M. WOMAN」

岩内町出身・在住で独創的な人体の表現を追求する画家、小島英一の作品を紹介します。

会期: 12月13日(土)~令和8年3月29日(日)

■第2展示室

小川原脩展「戦時下の画家～小川原脩の戦争を考える」

小川原脩が戦時下に手掛けた1940年代の油彩画作品と戦地スケッチ、資料を展示します。

会期: 開催中~令和8年1月18日(日)

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

小島英一展オープニング・セレモニー&ギャラリートーク

日時: 12月13日(土)10時~10時40分

会場: 第1展示室(予約不要・無料)

お話: 本展作家・小島英一さん

■ミュージアムコンサート

クリスマスミニコンサート

俱知安高校吹奏楽部によるソロ&アンサンブル演奏会を開催します。

日時: 12月20日(土)14時~14時30分

会場: ロビー(無料)※予約不要70席

出演: 俱知安高校吹奏楽部

■ロビー展示

第18回絵画コンクール「ふるさとを描こう」作品展

応募のあった作品、全121点をロビーに展示します。

日時: 開催中~12月7日(日) 会場: ロビー(無料)

「ふるさとを描こう」入賞者(町内分、敬称略)

ふるさと賞/大田 真穂(俱小2年) 渡邊 淳介(俱小3年)

豊福 祐李(東小3年) 石戸谷 哲(北陽小4年)

山本 小夏(北陽小4年) 小林 愛満(北陽小5年)

新林 夕芽(北陽小5年) 千葉 萌絵(俱小6年)

中谷 太一(西小6年) 松澤 結衣(俱中1年)

沼田 かの(俱中1年)

学校賞/北陽小学校

◎入賞作品は町HPからもご確認できます



ロビー・ギャラリー

冬期間に「ロビー・ギャラリー」(町内や近隣町村で創作活動を行う作家・愛好家の展示)を開催します。

展示者: 石塚貴洋(星景写真家) 日時: 12月22日(月)~令和8年1月18日(日) 会場: ロビー(無料)

小川原脩記念美術館 ☎ 21-4141
観覧料: 一般 500円 [400円]
高校生 300円 [200円]
小中学生 100円 [50円]

俱知安風土館 ☎ 22-6631
観覧料: 一般 200円 [100円]
高校生以下、美術館観覧者無料
※年間パスポート500円(発行日より1年有効)

開館時間は9時~17時(最終入館16時30分)
※[]内は10名以上の団体料金
12月の休館日 毎週火曜日、展示替えのため
美術館のみ8日(月)~12日(金)、
両館、年末年始のため31日(水)
~1月3日(土)
13日(土)は展覧会初日のため美術館観覧無料

ふるさとを描こう

小川原脩記念美術館では、第18回絵画コンクール「ふるさとを描こう」が行われ、後志管内町の小学生、羊蹄山麓の中学生を対象に、子どもたちが思い描くふるさとの風景を題材にした作品を募集しました。

今年は小学生100点、中学生21点の応募があり、さまざまな視点で描かれた個性溢れる作品が集まりました。

私を含め6名の審査員によって「ふるさと賞」22点を選出。入賞者には11月3日の表彰式で、たくさんの方に見守られながら賞状と副賞の授与が行われ、明るい笑顔と作品でいっぱいの会場となりました。

12月7日まで応募された全ての作品が美術館ロビーに展示されていますので、ご来館いただき力作をご鑑賞ください。

また、12月13日からは麓彩会展にも絵画を出展されている小島英一氏の展覧会、小島英一展「B. M. WOMAN」が開催されますので、こちらもぜひご覧ください。

館長 高橋淳之